

鳥取県と吉林省の友好交流二十周年に向けて
鳥取県文化観光局交流推進課
主事 安達直樹

私は平成二十四年四月より、鳥取県の国際交流を担当する交流推進課に配属され、県の友好交流先である中国吉林省及び河北省との交流事業に携わってきました。今年の二月からは吉林省に研修派遣され、現在は吉林省の省都長春市で中国語の勉強をしながら、両省の交流事業の仕事をしています。

長春市は、中国第一汽車集団公司という中国でも有数の自動車企業が本拠地を置いており、自動車生産地として有名です。日系企業ではトヨタ、マツダの他、自動車部品企業も数多く進出しています。長春で生活している日本人は年によって異なるものの大体三百人程度で、その多くは自動車関連企業で働く駐在員ですが、その他にも市内で飲食店を営まれている方や留学生など、その業種は様々です。

長春も他の中国の地方都市と同じく自動車があふれかえって

おり、その需要に交通インフラが追いついていません。現在は二〇一五年に開設予定の地下鉄や、道路の高架橋工事が急ピッチで進められているため、市内各地で渋滞が発生しています。また、交通ルールは、現地駐在員や留学生の誰もが第一印象として挙げるほどよくありません。高級車のポルシェやベンツが路地裏に列を並べて路上駐車している光景や、走行中の車の合間を縫って道路を横断する人々の姿に、最初は大変驚きました。

路地裏に入ると、個人商店や小さな中華料理店が軒を連ね、路上では炭火で串を焼き、ビール片手に談義に盛り上がる人々で熱気にあふれています。一方で、市内にはマクドナルド、スターバックス、コーヒー等の外資系飲食店が数多く出店しており、店の中には若者が友達と会話をしながらスマートフォンを操作する光景を見かけることができます。

そんな吉林省と鳥取県は、平成六年に友好交流の覚書を締結して以降、幅広い分野で交流を続けています。平成二十五年八月には、日野高校伝統芸能部「荒神神楽」

一行が吉林省を訪れ、現地の学生と両地域の伝統・現代芸能を相互に披露しました。

毎年九月に開催される「北東アジア博覧会」は、吉林省で開催される最大の国際貿易博覧会で、鳥取県は県内企業とともに、日本の自治体として唯一、第一回大会から続けて参加しています。第九回目となる二〇一五年の博覧会では、県内の食品関連企業等が出展され、日本酒やコーヒー等の販売、商談を実施しました。特に日本酒への引き合いは強く、博覧会の会期前半で準備していた商品が全て売り切れるほど盛況でした。

また、平成二十四年九月には、鳥取市訪問団が吉林省延辺朝鮮族自治州を訪問し、友好交流に関する覚書を締結しました。さらに、平成二十五年十月には吉林省の琿春市にて、境港市と琿春市との友好都市提携二十周年記念式典が行われました。

そして、平成二十六年は、鳥取県と吉林省が友好交流の覚書を締結して二十周年を迎える年です。これを記念して、両県省では様々な交流行事を実施し、相互理解・交流を更に推進していく予定

です。私も吉林省派遣経験者として、両県省の更なる交流のために微力ながら尽力していきたいと考えております。



渋滞が最も激しい夕方頃の
長春市内の様子



第9回北東アジア博覧会で
の鳥取県企業ブースの様子



吉林省青少年児童センターに
て迫力ある演技を披露する日
野高校伝統芸能部の生徒